

令和元年度 経営目標の達成状況（コロナウイルス感染症の影響を受けた経営目標）

Ⅲ. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)							
戦略目標	成果測定指標	単位	H30実績	R1目標	R1実績	R1実績 ※新型コロナウイルスの影響を受け なかった場合の実績〔推計〕	ウェイト
⑤-1 収益性の確保	売上高	億円	113	114	112	114	20

未達成の要因と分析

- 利用者数増加（4月～1月で前年比102.4%）により、1月時点では目標値を達成する見込みであった。
- しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大防止措置（Jリーグ公式戦延期、沿線施設の休業や営業時間短縮、一斉休校、企業の在宅勤務実施など）が、お客さまの出控えにつながった。
- このため、3月の利用者数は前年度比約3割減となるなど、特に運輸事業の売上高が落ち込んだことから、目標達成は困難となった。

新型コロナウイルスの影響を受け、目標未達成となった「R1実績」内訳等詳細〔推計〕

■令和2年2月以降新型コロナウイルスの影響による輸送人員減少に伴い、売上高が減少した。
 ◎新型コロナウイルスの影響例：沿線のイベント中止（ガンバ大阪4試合中止、万博桜まつり3/20～4/12開催中止）、大阪空港利用者減（2～3月で3割787千人減少）など。

■新型コロナウイルスの影響を受けなかった場合のR1実績額114億円（運輸収入について、4～1月はR1年度実績額、2～3月はH28～30年度実績平均額により算出。）

◎算出式

- ・運輸収入の見積額
 - 4月～1月：91.5億円 ※R1年度実績（前年比102.4%）
 - 2月：7.9億円 ※H28～30年度実績平均（参考：R1実績7.9億円）
 - 3月：9.3億円 ※H28～30年度実績平均（参考：R1実績6.7億円）
 - 91.5億円 + 7.9億円 + 9.3億円 = 108.7億円
- ・運輸雑収及び兼業収入のR1年度実績額
 - 6.1億円（前年比95.5%）
 - ※運輸雑収：車内吊り広告やサイネージなどの広告料等。
 - 兼業収入：駅構内やビルなどの賃料。
- ・売上高の見積額
 - 108.7億円 + 6.1億円 = 114.8億円

2月運輸収入 ⇒ 3か年平均 7.9億円

- ・H28年度7.9億円
- ・H29年度7.8億円
- ・H30年度8.1億円

3月運輸収入 ⇒ 3か年平均 9.3億円

- ・H28年度9.2億円
- ・H29年度9.4億円
- ・H30年度9.3億円